



行事予定表		
1	火	リトミック
2	水	読み聞かせ
3	木	交通安全教室(4・5歳児)
7	月	給食費引き落とし日(3歳児以上)
8	火	ピヨピヨひろば(今月は中止)
10	木	カレーの日
15	火	巡回相談
16	水	クリスマス会
24	木	誕生会
25	金	避難訓練
28	月	保育納めの日(大掃除)

ふたばっ子は、自然の中に出掛け  
何でも子どもだけでやることになり、  
今までにない直接体験を沢山して、  
大きく成長している。

今年は短く感じる。  
すぐクリスマス。  
主要な行事は終わり、  
秋が行き、冬が来て、一年が去る。  
風が冷たくなり、あつという間に

枯れ葉が積み重なる  
焼き芋を経験している年長児に  
「焼き芋、いつやるの?」とせかされた。  
さつま芋は大豊作だったので、  
もう二度もやった。



木枯らしに、枯れ葉が光を浴び  
キラキラと降り注ぐ。  
子ども達は、舞い散る落ち葉を  
捕えようと手をかざし、追う。

### 今月の予定の中から 焼き芋計画中!



・園庭の落ち葉も沢山集まり、焼き芋の準備万端です。子ども達は、落ち葉のたまり場を見つけて、遊び始めます。落ち葉に埋まったり、落ち葉を宙に投げ、落ちる様を楽しんだりしています。お天気の良い日に皆で焼き芋をしようと思っています。

### ●カレーの日(10日)

・ぞうグループ(5歳児)は野菜切りも慣れた手つきで行うようになってきました。きりんグループは慎重に包丁を握る姿が見られます。その様子を小さい子ども達が順番に見学にやっています。さあ、今回も保育園全体でのカレーの日です。お米もいつもより沢山炊きますよ。

### ●クリスマス会(16日)

・今年もクリスマスのきらびやかな雰囲気を感じ、夢見る気持ちを大切にしたいと考えています。クリスマスソングを歌ったり、サンタさんに手紙を書いたり、クリスマス当日も楽しみに出来そうですよ。いってきます。

### ●誕生会(24日)

・「十二支の話」をパネルシアターで演じます。年末に向けて干支についても知らせる良い機会に出来ればと考えています。

### ●避難訓練(25日)

・毎月行うことの大切さを改めて感じます。自分の命を守る術を伝えながら、子どもたち自身も考えて行動出来るようになって欲しいと思います。

### ●保育納めの日(28日)

・各保育室で今年を振り返り、日頃の感謝を込めて、各保育室を子どもと大掃除をします。

### ★お知らせ

・連絡王のメール内容は今後表示しないこともあります。必ず受信出来るようにお願いします。  
・朝夕は駐車場が混み合いご迷惑をお掛けして  
いますが、自分の事だけではなく、他の人の事

も考えて大人が速やかに行動できるといいですね。「車が混んでから早く帰るよ。」という声を聞くとホッとします。

・今月はおべんとうデーはありません。

・年末・年始は12月29日～1月3日まで休園です。年末年始にお休みの予定のある方は担任にお知らせ頂けると有難いです。

・今後の行事「餅つき」「発表会」「保育参観」については後日、お知らせをします。

・現在、育休中の吉国絵梨奈が、12月より職場復帰します。どうぞ宜しくお願いします。

### 筑波山の子ども達

幼稚園の筑波登山の翌朝、門のところまで登園してきた子ども達に「おはよう!」と声を掛けると、見向きもせず、うかない顔で、「オ・ハ・ヨ」と聞き取れないくらい小さな声が返ってきた。「元気ないな、どうした。もつと元気にあいさつしてよ」と言うと、「昨日の疲れが抜けないうんだよ」と言う。お母さんの真似をしたのだろうが、オイオイ、高貴光令者という言葉かよ、と絶句し、ガツクリし、笑うしかなかった。▼40年前は、筑波登山をする園はなかったが、登るのは体重移動だから、体の軽い子ども達にとっては、たやすいことだと思つた。しかも、手を突く間隔が近いので、危険は少ない。(但し、反対に下りには手をつけないので、かなり危険である。)初めて登つた時には、茶店の人達がびっくりにしていたのを憶えている。ケーブルで来る園もあったが、足で登つた幼稚園は初めてだったとのことだった。登山中に、小学生と一緒にいると、運動不足と体重オーバーで、へばつた小学生の集団に道をふさがれてしまうので、1時間～1時間半で登れるところ2時間以上かかってしまう。最近では6時半ごろに園を出て、邪魔されないように1番乗りで登り始めるので、先頭集団

は10時前には山頂に着く。お陰で10時半頃には全員が集まつてお弁当になり、余つた時間で男体山にも登っている。流石に男体山まで登っている幼稚園や小学校はない。

▼登る前に、筑波山をジッと見上げていた子が「誰がこんな山を作つたんだろう」とつぶやいた。すると、横にいた子が「神さまだよ。上に行くと神さまの家があるよ」と答えた。登り始めると、ビニールを持っていく子がいた。「ビニール、どうするの?」と尋ねると「雲を取って帰るの」と言つた。今年も快晴に恵まれ、雲は取れなかつたが、先頭集団は快調に登つた。子ども達は途中、少し広くなつていくところで、ヤッホー、ヤッホー、を連発した。下山して来る人達が「みんな、スゴイね、元気ね」と声をかけてくれた。すると、急に「ヤッホー、ヤッホー、うるさい!邪魔だ、どけ」と怒鳴られた。子ども達は、みんなに誉められていたのに、急に怒鳴られたので、みんなビックリして黙ってしまった。いかにも偏屈そうなジイさん(オはつけな)だった。ジイさんが少し下りたところで、「あんなジイさんもいるよ。さつきよりもつと大きい声で、下から登ってくる友達に、ヤッホーと、励ましてやろうよ」と私も一緒に大きな声で「ヤッホー」と叫んだ。ジイさんにも届いたかな?それにしても、平日の筑波は年寄りが多くなつた。ここも高令化かな。特に、ずっと昔、娘だった人が、今でも娘のように軽快に登つていた。女性活躍社会などと掛け声ばかりの日本、ジェンダーギャップ指数世界121位。この女性パワーを生かさない手はない。本園でも女の子は、強くてしっかりしている。この子たちの時代は、男女の差がない社会になつて欲しい。

理事長 浅田 精利

